

## 平成22年度横浜市港湾整備事業費会計予算

平成22年度横浜市の港湾整備事業費会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,121,046千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(市 債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる市債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 市債」による。

平成22年2月16日提出

横浜市長 林 文子



第1表 歳入歳出予算

歳 入

款	項	金 額
1 使用料及び手数料		1,511,889 <sup>千円</sup>
	1 使用料	1,511,889
2 財産収入		30,872
	1 財産運用収入	30,872
3 繰入金		100,310
	1 一般会計繰入金	100,310
4 繰越金		341,755
	1 繰越金	341,755
5 諸収入		128,220
	1 貸付金元利収入	553
	2 雑収入	127,667
6 市債		3,008,000
	1 市債	3,008,000
歳 入 合 計		5,121,046



## 歲 出

款	項	金 額
1 港 灣 整 備 事 業 費		5,121,046 <sup>千円</sup>
	1 管 理 費	1,262,046
	2 港 灣 整 備 費	1,520,000
	3 港 灣 施 設 整 備 費 貸 付 金	1,488,000
	4 公 債 費	850,000
	5 予 備 費	1,000
歲 出 合 計		5,121,046



## 第2表 市 債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
ふ頭整備費	千円 1,520,000	市債証券の発行または普通貸借の方法による。 起債の時期は平成22会計年度。ただし、その全部または一部を翌年度以後に繰り越し、起債することができる。	% 5.0以内	起債年度の翌年度から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし、本期間中、未償還額の範囲内において借り換えることができる。 公的資金を借り入れる場合は、その融通条件による。
港湾施設整備費 貸付金	1,488,000	同 上	同 上	同 上
計	3,008,000			